

美浜発電所3号機事故 再発防止対策の実施状況総括(4~6月実績と7~9月予定)

□ : 計画段階

□ : 実施段階

□ : 評価段階

基本行動方針	行動計画(14分類)	再発防止対策の取組み実績				当面3ヶ月の予定		
		~平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
安全を何よりも優先します。	(1) 経営計画における安全最優先の明確化と浸透		行動計画の浸透 <small>経営計画での明確化 3/24</small>	膝詰め対話の計画 膝詰め対話(試行) 意見の集約・対応(社内諸制度WG)		膝詰め対話		
	(2) 労働安全活動の充実		運転プラントへの立入制限および定検前準備作業の取り止め中 定検前準備作業のあり方検討(定検前準備作業取止めに対する評価・反映) 労働安全衛生マネジメントシステムの美浜1,2号機での試運用・評価 救急対応教育および救急法救急員等養成の計画・調整				本格導入の準備 救急対応教育および救急法救急員等養成の実施	
安全のために積極的に資源を投入します。	(1) 発電所保守管理体制の増強等		原子力事業本部-若狭支社統合、発電所保守管理体制、技術アドバイザー、情報管理専任者の具体化検討			7月中旬以降準備でき次第実施 運用・フォロー		
	(2) 積極的な資金の投入		投資内容の検討(メーカー・協力会社との対話等) 労働安全キャンペーン(実施中) 長期工事計画の見直し検討 予算制度の改善検討(問題点抽出・対策立案)				投資内容策定	見直し案策定 運用(社内標準へ反映)
	(3) 安全の確保を基本とした工程の策定		安全最優先の考え方に基づく定検工程の柔軟化(工程ありきで進めることのないよう柔軟に対応中) WG設置により定検工程の策定・変更プロセスの明確化、標準化を検討(問題点抽出・対策立案)				運用(社内標準へ反映)	
	(4) 教育の充実		2次系配管肉厚管理教育(事故後直ちに実施、今後も教材を改善し継続実施) マネジメント研修(役員~発電所所次長クラス研修は第1回目6月5日済み。第一線課長研修は5月より開始) 法令・指針等教育の計画・準備(法令・指針類の設定、教育資料の準備)				教育実施	
安全のために保守管理を継続的に改善し、メーカー、協力会社との協業体制を構築します。	(1) 2次系配管肉厚管理システムの充実	主要点検部位の点検リスト整備・報告 8/18	NISA文書に基づく追加点検リストの整備(平成17年8月まで) 当社による主体的管理の実施(体制の強化、点検漏れ等不具合情報の共有化、コンピュータシステムの改良)			その他部位の未点検箇所は2~3回の定検で現場照合を実施		
	(2) 計画、実施、評価等の保守管理を継続的に改善		保守管理方針明確化 5/16	浸透活動(周知文書、社内伝達教育、安全衛生協議会等) 当社、メーカー、協力会社との役割分担・調達管理の基本計画策定(代表工事9件)				運用(社内標準へ反映)
	(3) 監査の充実		プロセス監査の検討	プロセス監査の実施(第1四半期) プロセス監査の実施(第2四半期)			品質・安全監査室の若狭地域への常駐(7月中旬以降)	
	(4) メーカー、協力会社との協業		三菱重工業との技術協力協定 4/22	三菱重工業とのWG設置 6/3	WGによる検討(当社-三菱重工業との長期的役割分担・高経年化対策等) 協業体制構築(情報共有・人的交流等)に係るメーカー・協力会社・他電力との調整			技術情報連絡会開始など
地元の皆さまからの信頼の回復に努めます。	(1) 原子力事業本部の福井移転		移転の準備 WG設置検討			7月中旬以降準備でき次第移転 社内諸制度WGによる膝詰め対話の意見等の対応		
	(2) コミュニケーションの充実		地元キーパーソンへの説明、各種説明会、各戸訪問等による対話					
	(3) 地域との共生		福井県エネルギー研究開発拠点化計画への協力					
安全への取組みを客観的に評価し、広くお知らせします。	(1) 再発防止対策を確認し、評価する仕組みの構築		改革委員会により実施計画審議、取組み状況フォロー 検証委員会による実施状況の監視・評価・結果公表 再発防止対策の実施状況の周知・広報					